

2017 NICE にほんごスピーチコンテスト



スワンディ オンゴノ 『成功のためのキー』



インドネシア

皆さん、こんにちは。私はインドネシアから参りました留学生のワンと申します。本日、私は、成功のためのキーについて話したいと思います。トーマス・エジソンは、「成功とは、1%のひらめきと99%の努力だ」と言いました。私は彼の考えも正しいと思いますが、私にとって、成功とは「意志」と「夢」と「勇氣」で実現するものです。この3つの組み合わせが私にとっては成功のためのとても重要なキーです。



私は子供のころ、小さくて、とても不便な田舎の村に住んでいました。その村では、十分に良い教育を受けることができなくて、私の夢を叶えることができないので、この村から出たいと思っていました。それで、中学校に入ったとき、私は一人で自分の村から遠い町に引っ越しました。親に会うチャンスがほとんどなくなって、とてもつらかったですが、自分が決めたことなので、一人で頑張りました。

しかし、中学生になってから、私は、夢が少しずつ変わってきました。それは、たくさんの病気の人を見たからです。そのころは医療の技術がまだ進歩していなかったので、助からない人が多くいました。そのような人達を見たのをきっかけに、その人達を助けたいという強い気持ちが大きくなり、私の夢が変わってきたのです。今、私の夢は高い教育を身に着けて、病気で苦しんでいる人達を助けられるように、まだ発明されていない薬を作ることです。まわりの人にはよく無理だと言われますが、いつか必ず実現したいと思っています。

夢が大きくなったら、他の色々なことも良い方向に変わってきました。例えば、自分の勉強がだんだんはかどるようになりました。そのとき、私は「夢」と「意志」の役割の大切さに気づきました。自分がどこまで成長できるのかは「夢」次第なのだと思います。「夢」を大きく持てば持つほど、自分の能力が引き出せるし、自分をもっと成長できるだろうと思いました。しかし、うまく夢を持つことができても、それに向かって努力する「意志」がなかったら、意味がないと思います。「意志」はとても重要で、「意志」があれば、やる気を持って、努力を重ねることができるのではないのでしょうか。「意志」は夢から生まれるものだと思います。

中学校を卒業したとき、私は、本当はマレーシアに留学したかったのですが、あきらめてしまいました。

た。もっと高い教育を身に着けたいと思っていたのに、一人で他の国で暮らすのが恐ろしかったのです。その時、私は勇気がないという自分の短所に気付いて、心が重くなって、せっかく見つけた夢をあきらめようと思っていました。しかし、私のようにすがおかしいことに気付いた先生が私の相談に乗ってくれました。先生は、昔、私と同じことをしてしまったことがある、勇気がなかったため、セーフティゾーンにずっととどまっていた、チャンスを逃してしまったことがあると話してくれました。そして、先生に「前の失敗から学んで、次の機会は必ずつかもう」と言われて、もう一度頑張ろうという気持ちになりました。

それから3年経って、日本に留学するプログラムの募集を見たとき、私はこのチャンスは逃がさないで、必ず手に入れたいと思いました。夢を叶えるため、「勇気」や「意志」を全力で出して、テストの準備に頑張りました。6か月後、結果が出て、「合格」と書いてあるのをみて、うれしさのあまりに泣いてしまいました。「ついに、自分の夢に一步近づくことができました。これからももっと頑張ろう」と思いました。

その経験から、私は、どんなに強い意志をもって努力しても、自分のセーフティゾーンから出る「勇気」がないと、成功することはできないと思いました。「勇気」は成功に近づくためのとても重要なキーです。

皆さんは「得意に帆を揚げる！」という言葉をごぞんじですか。「自分の得意な分野で力を発揮する絶好の機会を得て、ここぞとばかりにはりきる。また、チャンスがきたら、逃さず、その波に乗ること。」という意味です。この言葉も成功のためのキーではないでしょうか。

「夢」を持ち、その「夢」を実現させるための「意志」と、チャンスを逃さずにつかまえる「勇気」があればどんな夢でも叶えられるのではないのでしょうか。この三つのキーワードを頭に入れておけば、必ず成功できると思います。私はこれからも頑張ります。皆さんも勉強や仕事など、自分がしていることに努力して、皆で成功を手に入れましょう。

これで私のスピーチを終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。